

紫波ネット

6
No.841 2012

人と地域をつなぐ広報紙

紫波ネット841号
平成24年6月13日発行
岩手県●紫波町 〒028-3392
紫波町日詰字西裏23-1
印刷・川嶋印刷株式会社



山屋ミズバシヨウまつり
まちの話題



水田に写る東根山
季節のPhoto



野村胡堂生誕130年
記念特集

【表紙の写真】 30歳代前半の野村胡堂です。「銭形平次捕物控」の作者であり、「あらえびす」のペンネームでレコード音楽評論家としても活躍。晩年、私財を投じて返済不要の野村学芸財団を創設。紫波町最初の名誉町民です。



消防演習
話題スポット

今年で130歳になります

野村胡堂・あらえびす

野村胡堂生誕130年記念特集

特集

読む・聴く・つなぐ胡堂さん 02

- 14 金山と隠れ切支丹
佐比内でトレッキング
- 15 新緑の自然に囲まれて
東根山登山

- 16 町の安心担う消防団
各種訓練を披露
- 19 放射性物質の検査結果
- 21 豊かな公が息づくまち

- 24 健やかランド紫波
- 26 町の話
- 32 シリーズ行ってみよう
紫波の伝統食を作る「赤飯」「煮しめ」

野村胡堂
生誕130年
記念特集

読む・聴く・つなぐ 胡堂さん

皆さんは、銭形平次をご存じですか。平次親分が投げ銭で悪人を成敗し、やむにやまれず過ちを犯す人を許す物語です。テレビの時代劇で知る人も多いのでは。この物語の原作『銭形平次捕物控』は、名譽町民野村胡堂こどうの代表作。大衆文芸として戦前戦後の日本中をとりこにした名作です。

その胡堂が旧大巻村に生まれてから、今年で130年。この記念すべき年に、いま一度、胡堂の軌跡をたどり、これから先、私たちは胡堂をどのように継承すべきか、そのヒントを探しに、関係する皆さんにお話を伺いました。

日本の偉人・野村胡堂というより、私たちのふるさとの胡堂さんとして、親しみをこめて町民の皆さんと一緒に考えたいと思います。

書斎で執筆に専念する胡堂

野村胡堂の生涯

無口でおとなしい少年が、やがて口語体の文章で大活躍

野村胡堂、本名野村長一は、紫波町で生まれ育ち、上京後、30歳を過ぎてから新聞社に入社。「あらえびす」の名前でクラシックレコード音楽の紹介、評論記事を書き、「胡堂」の名前で『銭形平次捕物控』などの小説を執筆しました。その後、46歳で新聞社を辞め作家を本業とします。

戦後の混乱の中、知人に出資を嘆願され、寄贈のつもりで購入した株が思わぬ資産となり、その私財を提供して、返済不要の学資を援助する学芸



旧制第一高等学校時代の胡堂（後列中央）

財団を創立しました。これまでに多くの優れた人材を輩出し現在も存続しています。
今年10月に生誕130年を迎える名譽町民の胡堂さん。その生涯をひもときます。

生い立ち

旧彦部村で農家の次男として生まれた長一は、少年期は無口でおとなしく、大の読書好きでした。彦部、長岡、乙部の村長を勤めた父が所有する蔵書「三國志」「水滸伝」「八大伝」「絵本太閤記」や黒岩涙香のものなどを数限りなく読み、ついに土蔵の本を読み尽くすと、寺や役場の古雑誌や古新聞を探して読むほどでした。いじめられっ子だった長一が一躍人気者になったのは、「高等小学校からの帰り道、読みためた物語をいじめっ子たちに話してやるようになったから」と、後に回想しています。（『胡堂百話』中央公論新社より）



昭和11年当時の胡堂の生家

学生時代

盛岡中学時代は、多くの優れた友人に出会いました。帝国大学（現在の東京大学）進学後も友好関係が続いた言語学者金田一京助や1年下の歌人石川啄木をはじめ、後に海軍大將となった先輩の米内光政、同じく海軍大將となった同級生の及川古志郎、旧赤石村出身の俳人岩動露子など。大学は、文科に進みたい長一と、医科を勧める父の折り合いがつかず、母の提案から間を取って法科に進学します。しかし「行為を罰して動機を罰しない」近代法に納得がいかない長一にとっては、退屈極まりない講義でした。それでも、法科で得た知識は、後の時代小説執筆に大きく貢献します。

野村胡堂略年表

- 明治15年（0歳）大巻村で誕生（本名野村長一、父野村長四郎と母マサの次男）。
- 明治20年（5歳）彦部尋常小学校入学。
- 明治21年（6歳）橋本八ナ（後に妻となる）が3月18日、彦部村で誕生（父亀太郎、母タケの次女）。
- 明治24年（9歳）紫波高等小学校入学。自宅全焼。
- 明治29年（14歳）盛岡尋常中学校入学（後の盛岡中学校、現盛岡高等学校）。
- 明治35年（20歳）上京し美術学校が文科の進学を志すが、医科を勧める父と意見が合わず、2年間浪人生活を送る。
- 明治37年（22歳）母の提案で間を取って法科に進むことで父と妥協。（旧制）第一高等学校入学。
- 明治40年（25歳）東京帝国大学法科大学（現東京大学法学部）仏法に入学。
- 明治43年（28歳）橋本八ナと結婚。介添人は金田一京助・長沼富村・智恵子。八ナ日本女子大学校を首席卒業。胡堂の父長四郎死去。
- 明治44年（29歳）長女淳誕生。東京帝大退学。
- 明治45年（30歳）報知社（後の報知新聞社）入社。
- 大正2年（31歳）長男一彦誕生。このころからクラシック音楽に魅せられ、レコード収集に熱中。
- 大正3年（32歳）報知新聞に「胡堂」のペンネームで人物評論「人類館」を書く。



胡堂の旧制一高時代からの親友、辰野隆(フランス文学者・随筆家)の「忘れぬことども」出版記念にて(後列左端が胡堂)

明治43年、日本女子大学に在学していた同郷の橋本ハナと結婚。父が他界し、法科に在籍している理由を失った長一は、経済的にも厳しく、翌年、帝国大学を退学しました。

新聞記者から作家へ

長一30歳の明治45年5月、同窓生をつとに報知新聞社に入社した長一は、最初は政治部外交を担当。2年後に社会部に移り、初めて「胡堂」のペンネームを使い、人物評論「人類館」を執筆(以下、長一を胡堂と表記)。しかし、酷評する内容に、掲載された名士たちから

抗議が殺到し、閑職に追いやられ文章を書くことを9年間禁じられました。社会部長を経て、調査部兼学芸部長となり、筆止めが解除されると、胡堂の著書として後に処女出版となった小説『二万年前』を報知新聞に掲載。「あらえびす」のペンネームで音楽や美術の記事を書き始めたのもこのころからでした。昭和6年、文藝春秋社創刊の新雑誌『オール讀物』に初めて『銭形平次捕物控』を執筆(以後26年間連載)。戦時下の昭和17年、新聞統合により報知新聞社は読売新聞社と合併。これを機に胡堂は辞職し、作家として専念するようになりました。

クラシック音楽評論

当時、日本ではクラシック音楽を聴く機会が無く、文献によって想像することしかできませんでした。その



原敬の甥の原達(盛岡中学時代の先輩)と胡堂(右)



胡堂の生家と周囲の景色(昭和11年)

「あの森の蔭に家ありき
乙女ありき 山吹ありき
五十歳の昔」 野村胡堂

後、録音技術の進歩によって、レコードが輸入され、初めて聴くことができたのです。その感動は計り知れません。胡堂はレコード収集にのめり込み、自身の感動を、持ち前の表現力で記事にしました。胡堂は晩年こう語っています。「音楽を愛するが故に、私はレコードを集めた。それは、見栄でも道楽でも、思惑でも競争でもなかった。未知の音楽を一つ一つ聴くことが、新しい世界の一つ一つの発見であった。」そして、「私は努めて音楽愛を語り、レコード愛を語る。議論や理屈は極力避けたつもりだ。それは私の柄でもないからである。私は経験を土台にして書き進んだ。」(『名曲決定盤』中央公論新社より)

大正4年(33歳) 八幡、母校日本女子大学付属高等女学校に奉職し家計を守る。

大正5年(34歳) 次女瓊子誕生。

大正9年(38歳) 3女椋子誕生。

大正11年(40歳) 「あらえびす」の署名で音楽会・展覧会に関する記事を書く。

大正13年(42歳) ベートーヴェン第9交響曲のレコードを日本人で初めて聴き、その紹介・批評記事を書く。

昭和2年(45歳) 長女淳死去。

昭和6年(49歳) 「文藝春秋オール讀物」創刊号に「銭形平次捕物控」第1作「金色の處女」を発表。

あらえびすの最初の著書「蕃音機とレコード通」を四六書院から刊行。

銭形平次の映画第1作「振袖源太」を松竹が製作。

昭和9年(52歳) 長男一彦死去。

昭和14年(57歳) あらえびす著「名曲決定盤」中央公論社より刊行。

昭和15年(58歳) 次女瓊子死去。

昭和17年(60歳) 報知新聞社は読売新聞社と合併。これを機に辞職。

昭和24年(67歳) 捕物作家クラブ結成。会長に就任。

昭和25年(68歳) 母校彦部小学校にピアノ購入資金を寄付。

昭和29年(72歳) 白内障のため入院。右目手術。

昭和30年(73歳) 再入院。左目手術。

昭和31年(74歳) 彦部公民館に蔵書数百冊を寄贈。「胡堂文庫」が設けられた(後に中央公民館に移管)。

昭和32年(75歳) 眼疾悪化のため「銭形平次捕物控」の筆を置く。(総数3000編)

野村学芸財団

昭和38年2月、胡堂は、所有するソニー株式会社約1億円（現在の価値で約4・4億円（注））を資本に、若い人材育成と新しい文化への助成を目的に、返済不要の奨学金・助成金を支給する野村学芸財団を設立しました。

学生時代、親からの仕送りが途絶え、大学を中退せざるを得なかった胡堂は、同じ苦しみを学生たちに経験させてはならないとの思いがあり、修学、研修、研究のための学資を援助するために私財を投じたのです。

胡堂の所有していたソニー株は、戦

後、出資者の見

つからない世の

中で、ソニーの

前身東京通信工

業の創業者が、

胡堂に援助を

嘆願したもので

した。財団は現

在も存続してお

り、援助を受け

た学生は、現在までに1000

人を超えています。

（注）平成23年消費者物価指数で算出



軽井沢の別荘にて



「故里の春日の丘に
かたくりの
むれ咲くころの
なつかしきかな」
野村胡堂
（城山公園歌碑）
妻ハナと胡堂

The interview

インタビュー

花籠 絃さん

東北大学大学院理学研究科
物理学専攻修士2年

学部への教授や先輩からの勧めもあり、私は現在、野村学芸財団のお世話になっております。

年に1度、財団の交流会があり、私も昨年参加し、普段はお会いすることのない分野の、芸術関係の仕事に携わる奨学生の先輩や、財団に出資している会社の取締役などとお話をすることができました。とても楽しく貴重な体験でした。また、財団から受ける援助のおかげでアルバイトに時間を制約されることもなく、勉学に専念することができました。胡堂さんが同郷で大変光栄ですしありがたく思っています。

SPレコード約7000枚を東京都に寄贈。

昭和33年（76歳）第6回菊池賞を受賞。

昭和34年（77歳）紫波町最初の名誉町民に推挙される。

される。

昭和35年（78歳）紫綬褒章を受章。

昭和38年（享年80歳）

紫波町に記念文庫を設立。（運営資金200万円と著書を寄贈）

野村学芸財団を設立。

4月14日肺炎のため死去。

勲三等瑞宝章を贈られる。

【没後】

昭和39年（没後1年）ハナは紫波町に胡堂の著書を寄贈。

昭和43年（没後5年）城山公園に歌碑が建立される。

ハナ死去。（享年80歳）

昭和45年（没後7年）日本作家クラブ（捕物作家クラブの後身）が神田明神境内に銭形平次記念碑を建立。

昭和62年（没後24年）第1回野村胡堂顕彰施設設立懇談会（彦部地区）

平成元年（没後26年）野村胡堂顕彰懇談会（東京）

平成3年（没後28年）彦部地区野村胡堂顕彰会

発足

平成7年（没後32年）「野村胡堂・あらえびす記念館」6月10日に開館

平成8年（没後33年）野村胡堂・あらえびす記念館

協力会設立（顕彰会解散）

平成22年（没後47年）NPO法人野村胡堂・あらえびす記念館協力会発足

平成24年（没後49年）生誕130年

寄稿

へ々な人生論より 胡堂文学に学べ

— 胡堂を育てたふるさとに誇りを —



外崎 菊敏さん
野村胡堂・あらえびす研究会

胡堂は信仰心に裏づけられたヒューマニズムの精神にあふれた人、自分と同様に隣人を大事にした。困っている人を見ると同情心でいっぱいになった。弱い者に優しくあたたかだった。信仰心に篤いふるさと、父母の深い愛情が胡堂の心を育てた。

胡堂は「人を愛することに人間の美しさがある。愛の極地は人を許すこと、許しはつまりいた人を立ち直らせ前に生きて行く力を与える」、と人間の美しさを小説に表現する。

この人は平和主義者、加えて、「長いものに巻かれろ、触らぬ神に祟りなし」というのが大嫌い、強い者を恐れなかった人。

10歳のころ、父と日詰で「前九年の役」を内容にした旅芝居を見た。安倍貞任が源義家に正体を見抜かれて「我はまことの奥州のあらえび

す（都から遠く中央の支配に服さない東国人）」と威張った場面に観客の歓声があがった。胡堂は貞任のあらえびすを誇る気持ちを胸に刻んだ（後にあらえびすをペンネームに、胡堂の胡も同じような意味）。また、祖母から侍の横暴や百姓一揆に加わった先祖のことを聞かされ、侍を嫌って農民の子を誇る気持ちになった。悪童にいじめられ、旧制一高では運動部の学生に殴られて、暴力を否定し弱い者に味方する心を一層強固にした。

こうした体験から、小説には、強い者の横暴や理不尽にあらがいがい弱者に味方し、社会の不合理を正そうとする作風を土台に据える。

胡堂は仕事に打ち込んで完全燃焼した人、「もう満足」というのが人生の最後の言葉。自分を曲げず本当に自分が願うものを追い求めて生

きた「人生の教師」、この人の小説に「人間いかに生きるべきか」が学べる。

佐比内金山とその周辺を舞台にした『黄金呪縛』などふるさとが顔を出す作品も多いが、胡堂は自分を育てたふるさとを丸ごと愛した人。私は生誕130年を迎えた今、偉大な魂を生んだ紫波を誇りたい気持ちでいっぱいです。



昭和25年に帰省した時の思いが刻まれた生誕120年記念碑(有限会社紫波石材贈)



『銭形平次捕物控』が掲載されていた『文藝春秋オール読物』(右)と『新篇銭形平次捕物控』(昭和19年 千代田書院発行)

胡堂さんは、とても 優しい人で、笑顔の 絶えない人

私の祖母の兄が胡堂さんです。晩年の胡堂さんは体が弱っていたので、お世話係が必要でした。私の姉が紫波高校を卒業後に東京で暮らす胡堂さんのお世話係をしていました。私も1年ほど姉と一緒にお世話係をしたことがあります。胡堂さんは体格のがっしりした人でしたが、車いすで家の中を移動していました。

胡堂さんは、私を「みっちゃん」と呼んで、身内なので、とてもかわいがっていただきました。とても優しい人で、怒った顔を見たことがありません。笑顔の絶えない人でした。胡堂さんの食事はとても質素なもので、ぜいたくな食事はしなかった人です。驚いたのは書齋がまるで蔵のようだったこと。本がぎっしりとあって、すごいなあと思った記憶があります。特に印象に残っているのは、ご夫婦の仲の良さです。お二人は寄り添うようにいつも一緒にいたと記憶しています。



堀切美智子さん
晩年の胡堂さんのお世話係

私と胡堂さんとの会話と云えば、どうしても故郷の話になりました。あの辺はどうなったかなとよく尋ねられました。夏、軽井沢の別荘から、林の中をぬけて自転車で買い物に行ったことをよく覚えています。その後私は郷里に戻って結婚しました。昭和39年でした。



三女 稔子(右)と軽井沢の別荘にて

胡堂をもっと知ってほしいから 特設コーナーを店内に設置



葛岡 武男さん
本のくずおか経営

の発行本だけでなく地元発行本を積極的に置くようにしています。胡堂さんは、もつと今以上に紹介され知られていい人だと思います。工夫が必要ですね。

私どもの「本のくずおか」は、国道4号沿いにある、文房具も扱う複合書店です。一般書籍、雑誌はもちろん、郷土の歴史に関する本、農業関係の書籍の充実を図っています。今年、胡堂生誕130年を機に胡堂特設コーナーを書店内に設けました。近年は、胡堂が紫波町出身の作家であることを知らない人が増えているように感じていたので、良い機会だと思いました。胡堂の読者は世代を超えて幅広くいると思います。もつと胡堂を知りたいという読者の要望に応えるように関連書を整理していきたいと思っています。

私自身は、売れ筋ではないかもしれないけれど、地元の作家の作品を置くことが使命だと考えていますから、中央



店内にある胡堂コーナー



【野村胡堂・あらえびす記念館 あらえびすホール】壁などに反射した音が何重にも聞こえるフラッターエコーが出ないように、天井の造りにも工夫が見られる

今の時代にあらえびすの感性を聴く 「あらえびすレコードコンサート」



侘美 淳さん
あらえびす
レコードコンサート講師

記念館開館時から月一回のペースで開かれているレコードコンサートも、今年2月に大台の200回を迎えました。町内外から熱心なクラシックファンが集まっています。

レコードコンサートの一番の醍醐味は、あらえびすが実際に聴いたSPレコードを、全く同じ音で今の私たちが聴けることです。レコードの保存状態も良く、電氣的な音の増幅もない究極のアナログ音楽を聴いている私たちは、何とせいたく存在でしょうか。

私は第107回コンサートから作曲家や演奏者などの解説に携わっています。当日の楽曲はあらかじめ解説者が選び、半期ごとにその予定を内外にお知らせしています。私の選曲コンセプト

トは次の二通りです。一つは、古今の音楽史を基とした著名な作曲家の楽曲を選曲すること。もう一つは、野村あらえびすが実際に聴いたレコードの批評・評論をまとめた『名曲決定盤』の中から選曲することです。最近はこの二つのコンセプトによる選曲とし、あらえびすの音楽的な完成に直接迫っていく追体験型コンサートを行っています。レコードの中には貴重な歴史的名盤も数多く見られます。偉人伝に出てくる博愛の医師シヴヴァイツァー。彼はバッハのオルガン研究・演奏の第一人者でもあるのですが、記念館には本人演奏のレコードが所蔵されています。また、米国のガーシュインが作曲し演奏している『ラプソディインブルー』などお宝がいっぱいあります。今の時代にあらえびすの感性を聴くレコードコンサートで至福の時を楽しみましょう。

「あらえびすレコードコンサート」
毎月第3日曜日、午後2時〜、野村
胡堂あらえびす記念館にて開催
コーヒー代200円

胡堂さんの「音のこだわり」を生かし「いい音」が分かる音響システムを提案

当家はハナ夫人の姉ハチの直系に当たり、私は、ハチさんの孫です。ハナ夫人は若いころからソプラノで歌う人だったそうです。胡堂さんがクラシックに夢中になっていく過程には、ハナ夫人の影響があったのではないかと想像できますね。

私の家系には「音」にこだわる人が多くおり、私自身もオーディオマニアを公言するほど音にこだわっています。クラシック音楽に限らないのですが、最高の音で聴きたいのです。胡堂さんが音にこだわった気持ちも多少は分かる気がします。オーディオマニア



あらえびすホールで使用しているスピーカー、タンノイ・ウエストミンスター・ロイヤル

橋本 宏巳さん

現代工芸美術家協会東北会会友
陶工房「我夢路」主宰(ハナ夫人のご実家)

アが高じて、野村胡堂・あらえびす記念館の建設の際に音響システムなどの設計へのアドバイスをを行うことになりました。

記念館の音響システム設計には、昭和63年12月から月1回のペースで彦部公民館で開いていた「あらえびすレコードコンサート」の経験も生かされました。いい音にこだわった胡堂さんの「音のこだわり」を生かしたいと思ったのです。それが、アキユフェーズのアンプを活用した音響システムに結実しています。

また、胡堂さんが遺したビクトロラ・クレデンザは、大正時代には電蓄の王様と言われたもので、当時は家1軒が買える値段だったそうです。ぜひSP原盤をビクトロラで聴いてみてください。胡堂さんのSP原盤の保存状態が優れているので、生きた音とはどんなものを体験することができるとは思います。



記念館でのレコードコンサートは、胡堂が収集した蓄音機と同型のビクトロラ・クレデンザを使用



胡堂が収集したエジソン式円筒蓄音機

思いを託されたコレクションの数々

昨年、記念館の企画展で公開された岡堂コレクションのSPレコード

野村胡堂は昭和32年、それまで30年間にわたり収集してきたレコードの中から、約7000枚と蓄音機などを東京都に寄贈しました。町は、野村胡堂・あらえびす記念館の開館に伴い、それらの移管を東京都に要望し、平成7年2月に実現。そして昨年、この胡堂コレクションを補完する貴重なレコードが、新たに横浜市在住の岡堂勝行さんから寄贈されました。胡堂に傾倒する岡堂さんは、個人輸入などで日本未発売の貴重なSPレコードを含む約5000枚を収集しており、今回、レコードの輸送・保管庫建築費用2千万円とともに譲りくださいました。

このほかにも、たくさんの方々から寄付をいただいています。皆さんから託される思いを大切にし、ご好意に感謝したいと思います。また、これらのSPレコードは、同記念館開催の企画展で聴くことができます。開催日が決まり次第『紫波ネット』でもお伝えします。

記念館での体験が

子どもの未来に

世代を
つなぐ
つながるきつかけに
なればいいな

この記念館は、私が7歳の時に、毎日通う彦部小学校の隣りに開館しました。「景色のいい広い芝生で遊んで楽しかった」初めて記念館を訪れたときの私の記憶です。6年生の時、教育振興運動の一環で、不來方高校音楽部のクリスマスコンサートをこの記念館で聴きました。その時の感動は今でも忘れません。中学卒業後は、迷わず不來方高校に入り、あこがれの音楽部に。その後、神奈川県立の洗足学園音楽大学で学び、子どもたちには音楽の場が大切ということを感じるようになりました。卒業後は地元就職と決めていたので、帰郷して教員試験を受けたのですが、実現はしませんでした。どうすれば音楽の楽しさを伝えられるのか。それは教員でなくてもできるのでは。幼いころに音楽と結びつけたこの記



作山 春香さん
NPO法人 野村胡堂・あらえびす
記念館 協力会 学芸員

念館なら実現できる。そんな思いを持って、今、私は、この野村胡堂・あらえびす記念館にいます。子どもたちには、何かのきつかけをつくってあげたい。学校ではできない、いろいろな体験を記念館で経験して、将来につながるようになればいいなと思っています。将来、若者が町の外に出ることも、自信と誇りを持って言う。そんな人が増えるといいです。そのためにも、多くの町民の皆さんに親子でこ来館いただきたいと思います。



「皿んこや
おぢの
髪見にふるさとを
訪へば故里
春浅かりき」野村胡堂
古里の彦部にて。前列左から長女淳、長男一彦、次女瓊子、三女榕子。
2列目左端胡堂、右端ハナ

野村胡堂・あらえびす記念館協力会がNPO法人となった平成22年4月より、世話人として区長が動く仕組みづくりを行いました。世話人は必ずしも区長である必要はありません。NPO法人の活動の趣旨に賛同する者なら誰でも世話人になれるのです。特に若い人たちが世話人として動くこと

NPOの個性を

生かした創意工夫の

行動力が求められています



佐々木 吉雄さん
野村胡堂・あらえびす記念館
協力会世話人

ができる仕組みを整えました。昨年からは、年に2回、世話人、協力会の役員が集まり、今何が求められているのか、私たちに何ができるのかを話し合っています。記念館と地域をつなぐ新たな大きな一歩を踏み出しました。胡堂さんを顕彰しながら、胡堂さんに親しみ、胡堂さんを地域に生かし、地域をつなぐ工夫とは何かを見定めて課題に取り組むことが必要です。NPO法人としての事業ができることこそ絶対の機会(チャンス)だと思っております。柔軟な発想力と能力ある人材を生かして、県内外に魅力ある顕彰館として強くアピールすることが求められています。

地域を
つなぐ

The interview

お聞きしました

「ここいいね」から始まる
人生を豊かにする記念館
のあり方を地域の皆さん
と一緒に考えたい



澤口 たまみさん
NPO法人 野村胡堂 あらえびす
記念館 協働理事長

平成22年4月、「NPO法人野村胡堂・あらえびす記念館協会」の初代理事長に就任された澤口たまみさんに、これからの記念館についてお聞きしました。

—どのような記念館にしたいとお考えですか？

理事長に就任以来、胡堂さんと記念館のことを考え続けていますが、今以上にもっと親しまれ愛される記念館にしたいと思います。

—より親しまれるためにどんなことを？

例えば、記念館の活用内容ですが、胡堂さんを顕彰する記念館だからといってクラシックにこだわらなくてもいいのでは、民謡だっていいと思うのです。発想は自由でいいのではないのでしょうか。

生物に詳しくハナさんは、胡堂さんと共に、虫にも優しいまなざしを注ぐ娘さんを育てています。記念館にかぎることなく紫波町という地域が、日常の中に草花、音楽、生き物がいて、自然を楽しむ場であり、自然を知る場であつたらすばらしいと思います。

—特にアピールしたいことは？

記念館から観る夕陽は本当にすばらしい、ぜひ見にいらしてください。記念館の建つ丘から見渡すことのできる胡堂さんを育んだ地域の風土もまたアピールできる魅力です。地域が一体となって風土を守り、次世代に伝え、感性を育む場として活用することも考えています。「ここいいね」から始まり、やがて人生を豊かにする記念館とはどんな施設なのでしょう。地域の皆さんと一緒に考えたいと思います。

参考：<http://happy.ap.teacup.com/tamamushi/195.html#readmore>(澤口さんのブログよりプロフィール抜粋)

エッセイスト、絵本作家。岩手大学農学部で、応用昆虫学を専攻。虫の代弁者として、虫や自然にまつわる文章を書くとともに、保育園や幼稚園の子どもたちとの散歩に同行して、野原で過ごす楽しさを伝えている。1990年、初めてのエッセイ集『虫のつぶやき聞こえたよ』(白水社)、第38回日本エッセイストクラブ賞を受賞。

記念館の窓から 見える景色を 楽しんでほしい

県外から訪れた人たちに城山公園にある野村胡堂さんの句碑をご案内すると、誰の句碑なのかよく分からない人が多いようです。ツアー参加者は年配者が多いので、銭形平次の作者と伝えらるとみんなすぐに理解してくれます。あらえびすのことも知らない人は多いので、胡堂という人を知ってもらって、興味を持っていただいで、平次と胡堂をつ



久慈 和子さん
ボランティアガイドしゃべーる
案内人

なげることから案内が始まります。

町内の人たちには、最初は野村胡堂 あらえびす記念館で開催しているレコードコンサートなどの行事に行ってみて、窓から見える景色も楽しんでほしいと案内しています。

胡堂さんを演じて その後クラシックの ファンになりました



藤尾 充さん
町民劇場で胡堂役を熱演

胡堂さんを演じたのは、平成12年に行われた第2回紫波町民劇場、胡堂と妻ハナの純愛をテーマにした「野村胡堂・あらえびす伝」上演でのことでした。平成14年の第3回以

降、久しぶりに動き出した今年の第4回町民劇場「南部杜氏事始め」村井権兵衛物語」上演にも参加しています。
当時の私は20歳過ぎたばかりでしたので、幼少期からハナ夫人と結婚するまでの青年期の胡堂さんを演じました。役作りの面からふりかえると、胡堂さんは好きなことに没頭する人という印象でした。夢中になるとそれを忘れて好きなことに没頭してしまいうのですが、その好きなことを楽しみに終わらせずに、後世に残したことが素晴らしいと思います。胡堂さんの影響だと思のですが、その後クラシックをよく聴くようになりました。



視力が弱まりハナに読み聞かせてもらう晩年の胡堂（昭和34年）

野村長一おみかず氏は、明治15年（1882）10月15日に紫波郡大巻村（明治22年より彦部村）に生まれ、大衆文学作家野村胡堂として、クラシック音楽黎明（れいめい）期に活躍した音楽評論家あらえびすとして、後世に残る輝かしい足跡を残しました。今年で生誕130年を迎えます。

多くの皆さまのご尽力により、胡堂の没後32年に当たる平成7年6月に「野村胡堂・あらえびす記念館」が開館し、胡堂所蔵の書籍・書画、あらえびすレコードコレクションの鑑賞

世代を超えてより
いっそう親しまれ
愛される記念館を
めざします

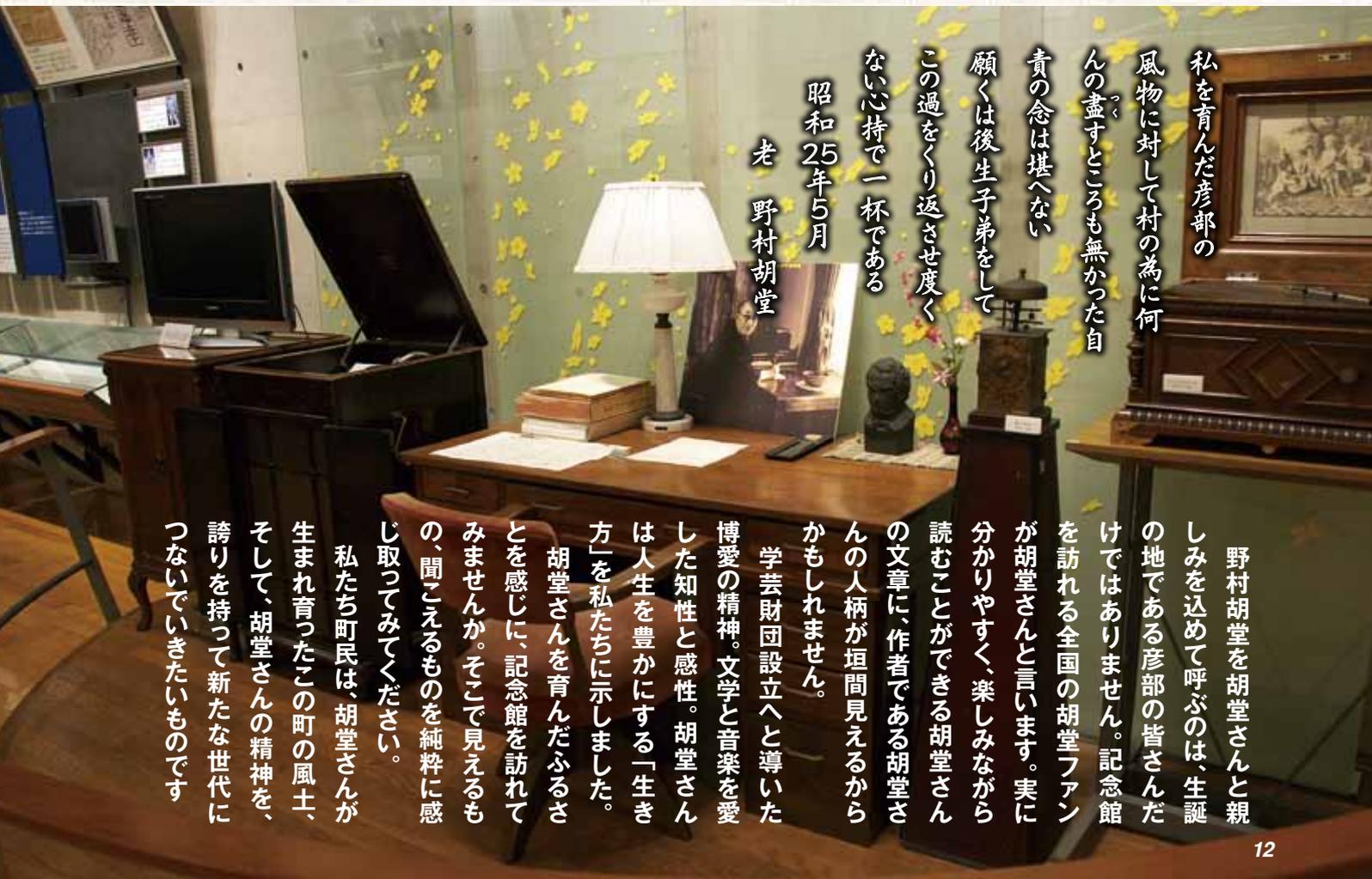


野村 晴一しげおさん
野村胡堂・あらえびす記念館長

が可能となりました。早くもので17年を迎えました。

今日においてもなお全国に多くの胡堂ファンが存在し、機会を見ては記念館を訪ねてくださることに深甚なる敬意と感謝を申し上げたい気持ちでいっぱいです。

生誕130年を機に、よりいっそう地域に開かれた、世代を超えて親しまれ愛される野村胡堂・あらえびす記念館となりますよう、スタッフはじめ協力会の皆さまと一緒に歩んでまいりますと存じます。



私を育んだ彦部の

風物に対して村の為は何

んの盡すところも無かつた自

責の念は堪へない

願くは後生子弟をして

この過をくり返させ度く

ない心持で一杯である

昭和25年5月

老 野村胡堂

野村胡堂を胡堂さんと親しみを込めて呼ぶのは、生誕の地である彦部の皆さんだけではありません。記念館を訪れる全国の胡堂ファンが胡堂さんと言います。実に分かりやすく、楽しみながら読むことができる胡堂さんの文章に、作者である胡堂さんの人柄が垣間見えるからかもしれません。

学芸財団設立へと導いた博愛の精神。文学と音楽を愛した知性と感性。胡堂さんは人生を豊かにする「生き方」を私たちに示しました。胡堂さんを育んだふるさとを感じに、記念館を訪れてみませんか。そこで見えるもの、聞こえるものを純粋に感じ取ってみてください。

私たち町民は、胡堂さんが生まれ育ったこの町の風土、そして、胡堂さんの精神を、誇りを持って新たな世代につないでいきたいものです



思わずスケッチしたくなるような景観が広がる記念館ギャラリーラウンジ

読む・聴く・つなぐ胡堂さん

野村胡堂生誕 130年記念事業

第1回企画展「胡堂がささえた人々」

野村胡堂とつながりのある人々とのエピソードから、胡堂の人柄を紹介。胡堂が故郷を思うが故に購入した松本竣介の絵画、舟越保武の彫刻を特別展示します。

■開催期間
6月19日(火)～9月30日(日)

■展示内容

作家 江戸川乱歩の肉声テープ(胡堂の通夜で思い出を語る乱歩)／画家 田部井石南(原画)／実業家 井深大(野村学芸財団会報)／精神科医 神谷美恵子(書簡)／作家 藤倉四郎(胡堂が署名した国旗)／画家 松本竣介(絵画①)「青年(未公開作品)」6月19日～7月31日限定 絵画②「少年」8月1日～9月30日限定／舟越保武(彫刻)8月7日～9月6日限定) ほか

胡堂講座 第1回

講演会「野村胡堂と石川啄木」

■講師 太田愛人氏(エッセイスト・牧師)

■日時 6月24日(日)午前10時～

■受講料 一般300円／協力会員100円／高校生以下150円

高橋克彦名誉館長×脚本家内館牧子氏特別対談

当館名誉館長である作家・高橋克彦氏と脚本家・内館牧子氏の特別対談。息のあったお二人のトークをお楽しみください。

■日時 10月27日(土)午後1時30分

■入場料 一般500円(要申込)

「野村胡堂・あらえびす記念館協力会」のご案内

特定非営利活動(NPO)法人 野村胡堂・あらえびす記念館協力会は、地域の文化振興と記念館の企画展への参画協力など、諸活動の充実を目的として設立された会です。協力会の事業は皆さんの会費で運営しております。協力会の活動趣旨にご賛同いただける人ならどなたでも入会することができます。

〈入会特典〉

- 入館料の割引↓大人100円、小中高生無料(家族全員と同伴者1人まで)
- 入場料金の割引↓記念館で開催されるコンサートなどを会員価格で提供
- 記念館主催事業のご案内↓講演会、講座、コンサートなど
- 会報の配付

〈会費〉

- 正会員 個人 2000円 団体 5000円
- 協力会員 個人 1000円 団体 3000円

※正会員は、総会に出席し運営に参画できます。
※特典は正会員・協力会員共通です。
※団体会員は、会報への広告掲載と会報発行時にチラシなどを同封できます。
※個人情報厳重に管理し、ご本人の同意が無い限り第三者には提供いたしません。

【問合せ】

NPO法人野村胡堂・あらえびす記念館協力会
(野村胡堂・あらえびす記念館内)
〒028-3315 紫波町彦部字暮坪193-1
☎676-6896 FAX676-6897
✉kodo-araebisu@town.shiwa.iwate.jp

野村胡堂・あらえびす記念館

■入館料 一般300円、小中高生150円
■開館時間 午前9時～午後4時30分(入館は4時まで)
■休館日 毎週月曜日(祝日の場合はその翌日)、12月28日～1月4日(あらえびすホール)演奏会や発表会などに利用できます。収容120席。

◇利用日時 午前9時～午後5時(月曜日休館)
◇使用料 ※冷暖房代別途 1時間770円(町外1310円)
〈展示コーナー〉 野村胡堂の生涯を紹介するパネル展示コーナー。
〈ギャラリーラウンジ〉 全長28メートルの窓から見える景色は壮観。コーヒー一杯100円



この大きなケヤキを通り抜ければ頂上はもうすぐ



朴木沢コースと金山周辺コースに参加した皆さん



ラショウモンカズラ



ヤマツツジ



金を掘り出した横穴跡



「山大十(サンタクルス)」は聖なる十字架を意味する



キツネノポタン



西側を見下ろせる唯一のポイント



金山と隠れ切支丹 佐比内でトレッキング



今野慎一さんと光子さん夫妻
(水沢市)



佐比内山ひだの会代表
山下研悦さん

金山と隠れ切支丹に興味を抱いて、ぜひ行ってみたいと思い参加しました。まさかこんなにたくさんの採掘跡があるとは思っていませんでした。作り物ではない手つかずの感じが良かったです。現場を見ると当時のことが想像できてロマンを感じました。

思った以上に参加者が多くて良かったです。参加者の半数は町外ですが、地元の小学生が参加して地元の歴史に触れてもらえたこともうれしいですね。緑が一番きれいな時期ですので、天気良くて佐比内の美しさを十分に見られたのではないのでしょうか。

佐比内山ひだの会が主催する歴史巡りトレッキング「佐比内金山隠れ切支丹物語」は5月26日、佐比内地区にある^{ほろのきさわ}朴木沢、洞ヶ沢などの産金跡や、隠れ切支丹の面影を残す遺跡を見て歩くツアーを開催しました。県内各地から85人が参加、3コースに分かれ、地元住民による会員ガイドの案内で約3、4時間のトレッキングを楽しみました。

頂上付近には、金を採掘した横穴や露天掘りの跡が残っており、往時の面影を目の当たりにした参加者は、驚きと感動の表情を浮かべていました。

佐比内地区は約400年前、南部藩最大の金の産地で、全国から金山の鉱夫が集い、最盛期には1万3千人を数えるほどでした。また、当時弾圧されていたキリスト教徒が素性を隠して入り込み、隠れクリスタンとして生活しています。

新緑の自然に囲まれて 東根山登山

初夏を感じる快晴に恵まれた6月2日、今年で29回目となる東根山登山が行われました。ラ・フランス温泉館の駐車場で山開き行事を行った後、約170人の参加者が5つのグループに分かれて標高928.4mの山頂へ向けて出発。各所に目印となる場所があり、参加者は、所々に咲いている花々や眼下に広がる町の景色を見ながら登りました。



機関銃岩



ブナやミズナラが生い茂っている山道は、新緑が見事なグラデーションを見せており、目にもさわやかな風景。

蛇石展望台から町を眺め、頂上まであと一息☆



あと少し!



山頂はもうちょっと先ですが見晴らしがいいのはこの山頂広場

登頂!

長い山道を抜けると、そこは町が一望できる大パノラマ! 町内の田園風景はもちろん、山王海ダムや新山展望台、さらには岩手山や秋田駒ヶ岳なども見渡すことができました。



山頂広場の西側。遠くの雪山は秋田駒ヶ岳



頂上(三角点)まで来たよ!

山王海ダム



マイズルソウ



タニウツギ



ニリンソウ



シラネアオイ

想像していたよりも大変だったけど、登りきった時はやはり気持ちよかったです。おじいちゃんやおばあちゃんと一緒にまた登りに来たいと思います

途中で赤い実や紫色の花を見つけて楽しんでました。景色もきれいでよかったです

楽しかったです



盛岡市の
中村理恵さん
萌那ちゃん(7歳)
茉那ちゃん(9歳)

水分公民館 坂本好司館長



東根山登山始まって以来の大勢の方々に参加してくれました。天気にも恵まれ大成功です。町外からの参加者も増えていることから、町内に限らず、東根山への関心の高まりを感じました。あまり急な斜面もなく2時間半ほどで登れる山なので、登るにはちょうどよい山だと思います。参加した皆さんに、東根山の良さを感じていただけたらうれしいですね。



消防車全34台が横一列に並んで一斉に放水



ラップ隊に加わり演奏する紫波総合高校の生徒たち



三角巾を使った応急手当訓練



機敏な動作で習熟された訓練を披露する団員たち

阿部悦尚団長を先頭に息のあった行進

町の安心担う消防団 各種訓練を披露



片寄地区の中田文子さん(下)、抄織さん(左)、有咲ちゃん

家族が団員なので毎年見に来ています。毎日忙しい中、朝早くから練習に出かけていたので、その成果が出ていたと思います。人数がとて多くて壮観でした。



紫波総合高校吹奏楽部の前列左から五日市彩乃さん、石川世奈さん、福田みのりさん、後列左から藤原一明君、下川匠美さん、河野成美さん

約3週間猛練習しました。本番では、失敗もあったけど達成感で一杯です。団員のキビキビとした動きがカッコいいと思いました。



佐比内小学校の少年消防団による金山太鼓の演奏

快晴に恵まれた6月3日、町の消防演習が紫波運動公園河川グラウンドで行われました。消防団員をはじめ、婦人消防協力隊員、消防署員など、町の消防関係者約900人が参加し、各種訓練やポンプ操作などを披露しました。今年も紫波総合高校から29人の生徒たちが、ボランティアで参加し、受付や接待、表彰などの係を担当。吹奏楽部の6人はラップ隊に加わり訓練を披露しました。



堤防を埋め尽くすほど大勢の観客



赤石幼稚園とあづま幼稚園の演技

SPOT NEWS

スポットニュース

第2回南部酒屋唄全国大会は4月29日、中央公民館で開催されました。500人を超える参加人数は、全国2番目の規模を誇る民謡大会です。酩酊^{もどす}唄と流し唄のいずれかを、年少、一般、70歳以上の部門ごとに審査。最後に各部門の上位2人ずつによるグランプリ大会が行われ、栗石町の山上衛さんが優勝しました。

南部酒屋唄全国大会



優勝した山上衛さん



日詰体協ゼニーズの大川原正志主将が選手宣誓

早起き野球開幕

早起き野球協会のリーグ戦が5月13日に開幕し、試合に先行して開会式が行われました。県大会出場を目指し、全8チームが8月まで熱戦を繰り広げます。

赤石小学校（高田満校長、全校児童396人）で5月15日、自転車安全利用モデル校指定書交付式が行われました。警察署の南部一成交通課長は「命は一つしかない宝物。道路を渡るときには、止まる、見る、待つ」を心がけ、事故に遭わないように気をつけてほしい」と呼びかけました。



児童代表の森保尚也くんが「交通ルールをしっかりと守って安全に登校します」と宣言

交通安全、一人一人が意識しよう

統計調査員に紫波町表彰

統計調査員表彰式は5月14日、JAいわて中央パーフルパレスで行われ、町の統計調査員として、長年ご尽力いただいたお二人に、藤原町長から表彰状が贈られました。



熊谷金悦さん（桜町） 工藤一誠さん（上平沢）



丁寧に作業を進める生徒たち

伝統の手作業、田植え体験 三中

紫波第三中学校（藤原美智雄校長）の2年生42人が5月29日、稲藤地内の水田で田植え体験をしました。生徒たちは、はだして田んぼに入り、苗を3本ずつ取り分けて定植。「心を込めて育てて、おいしいお米にしたい」と田村祐介くん。同校は、収穫した米を修学旅行先の東京で販売する予定です。



植え付ける間隔を棒で測ります

ジャガイモの植え付け体験 一中

太陽が照りつけた5月24日、紫波第一中学校（岩泉康喜校長）の2年生245人が、高橋農産（高橋信社長）の転作田でジャガイモの植え付け作業を行いました。8月の収穫時には、種芋の15倍の重さになるとのこと。収穫が楽しみです！

ツーロックして ますか？

盗難被害を食い止めるには「家も自転車も二つの施錠をするツーロック」が効果的」と訴え、町の防犯団体が、6月1日から30日作戦を展開しています。



古館駅で啓発活動をする古館地区防犯協会

まちづくり 座談会2012

6月28日(木)～7月12日(木)

月日	時間	会場
6/28(木)	午後6時30分～	長岡公民館
6/29(金)	午後6時30分～	水分公民館
7/ 1(日)	午前9時30分～	赤石公民館
7/ 1(日)	午後1時30分～	情報交流館 (紫波中央駅前オガールプラザ内)
7/ 3(火)	午後6時30分～	彦部公民館
7/ 6(金)	午後6時30分～	佐比内公民館
7/ 7(土)	午前9時30分～	古館ふれあいホール
7/10(火)	午後6時30分～	赤沢公民館
7/12(木)	午後6時30分～	農協志和支所



町の行政に対して「どうなっているんだらう」「こうしてはどうだろうか」と、疑問やご意見はありますか。年に一度、町長をはじめとする町の幹部職員が、もっと住みよい町にするために、各地区を訪問して皆さんのご意見やお考えを伺います。

子育て、老後、環境、健康、産業など、皆さんが日常の中で感じていることをお気軽にお話しください。

特に、子育て世代の皆さんは、子どもたちの未来のためにも、この機会にぜひ会場にお出かけください。

【問合せ】企画課 情報政策室 ☎672-2111 内線3232

オガールプラザ 6月20日オープン

紫波町図書館カード
登録受付は7月3日から

8月31日の図書館開館に向けて、
図書館カードの申込受付を開始します。

◇受付日時 7月3日(火)以降

午前10時～午後4時(火～金曜日)

◇受付場所 情報交流館内 図書館入口付近

◇対象 町内在住・在勤・在学、盛岡市・
花巻市・矢巾町・滝沢村・雫石町在住の人

◇申込

①申込用紙に記入(用紙は、情報交流館、各公民館、ポータル紫波からダウンロード)

②本人確認できるもの(運転免許証、保険証、住基カード、パスポート、学生の場合は生徒手帳・学生証など)

※小学生以下は保護者同伴で手続きしてください。

※今まで発行されている図書カードは使用できません。(返却不要)

◇問合せ 紫波町図書館 ☎671-3746



本の
タイトルや返却
期限、図書館から
のお知らせが印字
されます

紫波中央駅前のオガールプラザは、6月20日午前9時に開場式(テープカット)を行い、待望のグラウンドオープンを迎えます。

6月お知らせ版(5月23日発行)でご案内したとおり、西棟と東棟には主に民間のお店や医療機関が、中央棟には町の施設「情報交流館」が入ります。

6月30日までのオープニングイベント期間中は、情報交流館の活用の方をご紹介するため、館内スタジオなどでさまざまな催しを予定しています。この機会にぜひお出かけください。

◇問合せ
情報交流館事務局 ☎(672)2918

放射性物質の検査結果をお知らせします

紫波町産直組合連絡協議会は、消費者の不安を解消するため、町内9カ所の産直で採取した山菜の放射性物質検査を実施しました。検査結果は下記のとおり、すべて基準値の1/2以下でした。今後も同協議会と町が協力しながら、安心できる食の提供を図るために努めていきます。

- 検査結果 「検出されず」または「基準値(100Bq/kg)の1/2未満」
- 検査品目 ワラビ、フキ、ウルイ、ウド
- 検査日 5月9日、10日
- 検査機関 株式会社大東環境科学(精密検査)、盛岡農業改良普及センター(簡易検査)

内部被ばく量の計算方法

食物の摂取により体内に取り入れられた放射性物質は、日数の経過とともに減っていきませんが、放射性物質が体内に残っている間に受ける、1年間の内部被ばくの総線量は、次のように計算できます。

$$\text{食品中の放射性物質濃度(Bq/kg)} \times \text{年間摂食量(kg/年)} \times \text{実効線量係数(mSv/Bq)} \\ = \text{内部被ばく量(mSv/年)}$$

計算してみました

仮に、出荷制限となる100Bq/kgの山菜を、1日500gずつ1年間食べ続けた場合の内部被ばく量を計算してみました。

$$100\text{Bq/kg} \times (0.5\text{kg} \times 365\text{日}) \times \text{実効線量係数}(0.00016\text{mSv/Bq}) = 0.292\text{mSv/年}$$

0.292mSv/年という数値は、国が基準値とする年間被ばく量(1mSv/年)を大きく下回ります。今回の検査結果は、この数字の1/2以下ですので、さらに安全と言えます。

※実効線量係数=放射性物質の種類や摂取経路、年齢区分ごとに、放射性物質の半減期や体内での動き、放出する放射線の強さ・量などから決められています。今回は成人の係数として、セシウム134とセシウム137を加重平均し 1.6×10^{-5} mSv/Bqとして計算しています。

学校給食センターは 毎日検査

町の学校給食は、安全性が確認された食材を使用していますが、さらに安全性を確認するため、6月1日からは毎日、調理後の献立1食分を独自に検査しています。

- 検査対象 町内小・中学校で提供される給食(一食分)
- 検査機器 NaIシンチレーションスペクトロメータ(簡易検査)
- 検査核種 放射性ヨウ素131、放射性セシウム134、放射性セシウム137
- 検査結果 6月8日現在、放射性物質の数値は検出されていません。

町のホームページでもお知らせしています。
<http://www.town.shiwa.iwate.jp/>

放射性物質を測定します

町は、一般町民を対象に、簡易型放射線測定器を使用した放射性物質の測定を行います。測定を希望する人は、事前にご予約の上ご利用ください。(営業・販売用は除きます)

- 測定対象 町民が持ち込む一般食品(家庭菜園や山菜など町内で採れたもの)、飲料水、土壌など
- 測定機器 NaIシンチレーションスペクトロメータ(RAD IQ FS200)
- 測定方法 野菜などは細かくみじん切りにしたもの1kgを未使用のポリ袋などに密封、液状の食品は1ℓを密封容器などに液漏れしないように入れて持参してください。(測定結果は2日後に出ます)
- 手数料 無料

※この検査は、厚生労働省の「食品中の放射性セシウムスクリーニング法」に準じて実施する簡易検査です。測定結果は、個人の食品安全確認のために用いるもので、販売証明として使用することはできません。

【申込・問合せ】 環境課 生活環境室 ☎672-2111 内線3521~3523(平日午前9時~午後4時)

環境マイスターになりませんか～養成講座・受講生募集～

町は、良好な環境を未来の子どもたちに引き継ぐため、町の皆さんと共に「循環型まちづくり」を進めています。その一つとして「環境マイスター」を養成しており、これまでに121人を認定し、地域や学校などで環境保全・啓発の活動をしていただいています。

講座の内容は、環境の基礎的知識や評価方法など、専門家による楽しく分かりやすい講義を予定しています。環境のことや環境を守る活動に関心のある人は、この機会にご応募ください。

◆養成講座日程

- ・ 7月21日(土) 開講式・水生生物の調査実習ほか
 - ・ 7月28日(土) 町内木造施設の見学ほか
 - ・ 8月25日(土) 循環型まちづくりの講義ほか
 - ・ 9月29日(土) 廃棄物とりサイクルの講義ほか
 - ・ 10月27日(土) エネルギーと地球温暖化の講義ほか
 - ・ 11月17日(土) 地元学、自然環境の講義ほか
 - ・ 12月15日(土) 救命講習、今後の活動ほか、閉講式
- 時間はすべて午前9時～午後4時(日程や時間は変更することがあります)



薄名川で行った水生生物の調査実習

◆応募資格

- ① 満16歳以上の人(平成25年3月末現在)
- ② 町内に在住または在勤か在学し、地域で環境学習や環境保全の活動をできる人、または活動をしてみたい人
- ③ 全7回の講座を受講できる人

◆募集人員 20人程度

◆受講料 無料

◆申込・問合せ 7月13日(金)

までに、住所、氏名、年齢、性別、連絡先を電話またはFAX、電子メールでご連絡ください。

環境課 循環政策室 ☎672-2111 内線3514 電子メール kankyo@town.shiwa.iwate.jp

森林エネルギーフォーラム2012 in紫波

～便利で・安全・効率よく・おしゃれな森のエネルギーで地域自立を目指す～

- スイス木質バイオの第一人者アンドレアス・ケール氏をお招きして、基調講演などをテーマ別に3日間開催します。23日には、家族で楽しめるイベントもあります。
- 林業再生と地域経済循環**
- ◇日時 6月21日(木)
午後1時～ 基調講演
午後3時30分～ パネルディスカッション
報告交流館
- 木質バイオマスエネルギー利用**
- ◇日時 6月22日(金)
- 森のエネルギーを生活に活かす**
- ◇日時 6月23日(土) 午前10時～ 基調講演
午前10時～午後3時
チェーンソーアート、樹木クイズ、小枝でリース作り
報告交流館
- ◇会場 オガールプラザ
- ◇日時 6月23日(土) 午前10時～ 基調講演
午後1時～ パネルディスカッション
午前10時～午後3時 林業機械展示
◇会場 ラ・フランス温泉館 報告交流館

“エコ・ショップしわ”に なんバザ・ホールを認定

町は、環境に配慮した取り組みをする店舗として、なんバザ・ホール運営協議会(内川登美子会長)を16店舗目となる「エコ・ショップしわ」に認定しました。審査はごみ減量女性会議(瀬川智子会長)が行い、レジ袋の削減、量り売り、食用油リサイクルなど、ごみを出さない取り組みが認められました。



認定書を受領する内川登美子会長(左)

豊かな公が 息づくまち

「もっと町が好きになる情報」

町内の「市民活動」「地域」「コミュニティ」「町の施策への市民参加」など、毎月、協働のまちづくりの情報をお伝えします。

みんなで公益活動を
応援しよう

地域づくり活動補助金
公開プレゼンテーション

市民活動に活用できる
補助金の公開審査会を開
催します。

どなたでも自由に参観
でき、応援メッセージなど
で審査に参加することも
できます。

◆日時 6月30日(土)
午後1時～

◆会場 情報交流館(中
央駅前オガールプラザ内)

同時開催お楽しみ企画

こまちデビュー

オープンプレイベント

この夏、日詰商店街習



町にオープンする女性起
業家たちを中心とした市
民活動の拠点「ならいま
ちこまち」が、同会場でス
ーツやアクセサリーなど
目にも美味しいコーナーを
展開します。お誘いあわせ
てお出かけください。

市民活動の相談、
情報発信に
市民活動支援センター
「ゆいっとサロン」

「ゆいっとサロン」は、平
成18年11月1日に市民活
動の活性化を目指すため
に開設され、担い手育成に
かかる支援、行政と市民
活動の中間支援の役割を
果たしてきました。

6月20日からは情報交
流館に移転し、情報と人
が行き交う市民活動の拠
点として再出発します。
町内のNPO法人の増加
や活動の活性化を支援す
ることにより、町が目指す
「協働のまちづくり」や、
市民が自立する「豊かな
公」を目指すものです。
「ゆいっとサロン」は、皆
さんの「どんな活動がある
のか知りたい」「こんな活
動をしたい」「どう活動し
たらいいの？」をつなげる
お手伝いをします。
※平成24年度の管理運営は、自発的
な発案による企画提案方式により受
託者を広く募集して決定しました。

市民参加条例により行われる 平成24年度市民参加の予定

それぞれの詳細は別途『紫波ネット』や町のホームページでお知らせ
します。参加の時期や方法は変更することがあります。

対 象	市民参加する事項	対象事項の概要	市民参加の方法 (審議会などは名称)	実施予定時期	担当部署
市民参加の対 象となる事項	紫波町地域福祉 計画	地域住民が主体となって地域の課題 解決の可能性を見出し、地域福祉の 総合的な推進を図るための計画	地域福祉計画 策定懇話会	9月～H25年2月	福 祉 課
			意見公募	H25年1月	
	農業経営基盤の 強化の促進に関 する基本構想	農業経営強化に関する目標、営農 類型ごとの効率的かつ安定的な農 業経営の指標となるもの。	意見交換会	10～11月	農 林 課
			意見公募	12～1月	
			農政審議会	2月	
	紫波町都市計画 マスタープラン	町の将来像を見据えて、長期的展望 に立った都市インフラの整備や土地 利用の方針などを定め、まちづくり の大枠を描くもので、まちづくり(都 市計画)の指針となるもの。	市民会議	6～8月	都市計画課
			地区説明会	11月	
			意見公募	12月	
	紫波町水防計画	大雨および洪水による水災害を警 戒、防御し、災害から住民の生命、財 産を保護し、被害を軽減するなど公 共の安全を保持することを目的に策 定したものの。	意見交換会	11～12月	総 務 課
			意見公募	H25年1月	
防災会議			H25年2月		
紫波町国民保護 計画	武力攻撃などの国民の安全を脅か す事態に備え、国民の保護のための 措置を的確かつ迅速に実施するため 策定したものの。	意見交換会	11～12月	総 務 課	
		意見公募	H25年1月		
		国民保護協議会	H25年2月		
対象事項以外 で市民参加す る事項	町水道事業の 広域化統合	紫波町水道ビジョンなどに基づき、 統合事業体として広域で取り組む 場合の料金設定を中心とした説明 会。	地区説明会	H25年1月～	水道事業所

【問合せ】企画課 協働支援室 ☎672-2111 内線3241

平成24年度以降も継続実施します 町管理型浄化槽整備事業

対象区域の皆さんが浄化槽の設置を希望する場合、町が宅内の敷地をお借りして浄化槽を設置・管理していきます。なお、手続や工事、維持管理は町が長期契約で委託している紫波PFI浄化槽整備株式会社が担当します。

■対象区域

農業集落排水区域と公共下水道区域を除く区域（下図ピンク色の「浄化槽整備事業区域」を参照）

■個人負担

宅内工事と排水工事費、増嵩経費（庭石・樹木などの移設、駐車場用設備など）、分担金、浄化槽使用料ほか

■町の負担

浄化槽設置工事費、定期点検、薬剤補充、法定検査、清掃、修繕（通常の使用で壊れた場合など）

■申込

平成25年3月末までに設置を希望する場合は、11月末までにお申し込みください。

・申込先

紫波PFI浄化槽整備株式会社

☎(672)2756

■問合せ

・事業全般について

下水道課 整備促進室

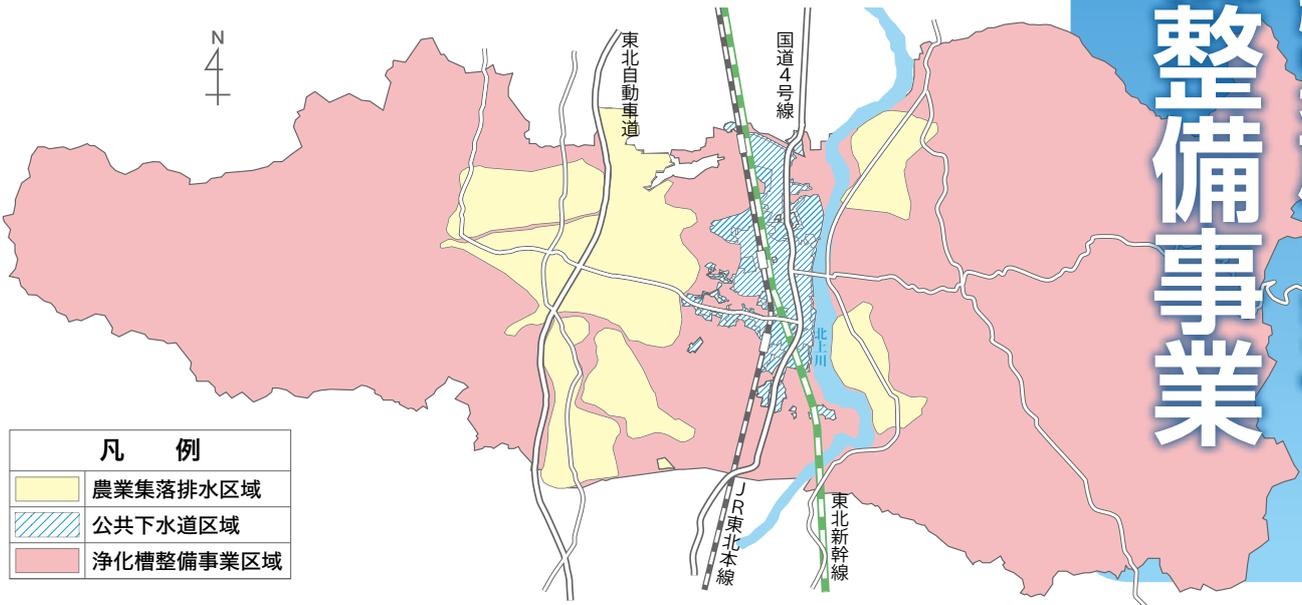
☎(672)6878

・申請・工事・維持管理

紫波PFI浄化槽整備株式会社

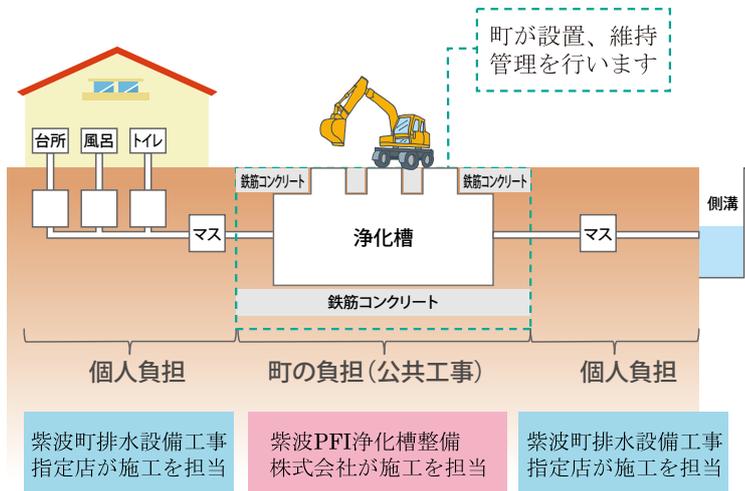
☎(672)2756

【紫波町管理型浄化槽整備事業 整備区域図】



凡 例	
	農業集落排水区域
	公共下水道区域
	浄化槽整備事業区域

【設置工事・維持管理イメージ図】



【浄化槽分担金・使用料】

人槽区分	分担金の額	使用料の額(月額)	
		新規設置浄化槽	既存浄化槽を寄附
5人槽	11万9600円	3843円	3780円
7人槽	13万8000円	3927円	3864円
10人槽	17万6500円	4368円	4263円

※使用料には、浄化槽の保守管理、清掃、検査、消耗品および修繕費用を含んでいます。
※既に個人で設置した浄化槽でも、一定の基準内であれば寄附を受けて町が管理することができます。

紫波町排水設備工事指定店が施工を担当

紫波PFI浄化槽整備株式会社が施工を担当

紫波町排水設備工事指定店が施工を担当

介護保険料の額が変わります



伊藤保健師

『第5期介護保険事業計画（平成24年度～26年度）』は、全国の市町村で策定され、「介護予防の給付費」と「介護予防に要する費用」の21%を、65歳以上の人の保険料から負担することが示されました。

19%増額

新たな計画により、町は、65歳以上の人にご負担いただく保険料の年額を次のように決定しました。今回「介護保険サービスの利用者が増加した」と「サービスの単価が改定されたこと」に併せて、今後3年間の給付費などの総額を74億6700万円と見込んでいます。（過去3年間と比較して19%増）

3年間は同額

保険料は本来、介護サービスなどの給付状況によって増減しますが、今回お知らせする額は、今後3年間は同じ基準で継続します。

また「ご家族を含めた所得などの状況から保険料が決定」される仕組みはこれまでと同じです。

年金から天引き

介護保険料の支払いは、原則として年金から天引きする「特別徴収」です。特別徴収の場合、1回あたりの保険料額をできるだけ毎回同じ額に近づけるため、今回は6月と8月の天引き額を変更します。（さまざま理由から、納付書や口座振替

で納付する「普通徴収」の場合もあります）

普通徴収の該当者には7月に通知

1回当たりの保険料額が増加することで、年金からの天引きができなくなる人には、普通徴収による納付をお願いします。対象者には、7月に年額を通知しますので、8回に分けて納付をお願いします。

被災者は半額免除

東日本大震災で被災された人は、平成24年度の額うち半額相当が免除され、納付は10月以降に年金からの天引きまたは納付書などの方法でお願いする予定です。

新たな保険料の年額

所得段階	段階ごとの対象者		旧保険料	新保険料
第1段階	生活保護受給者など		20,900円	27,300円
第2段階	世帯全員が住民税非課税	前年の合計所得金額と課税対象年金収入額の合計が80万円以下	20,900円	27,300円
第3段階		第2段階に該当しない人	31,400円	40,900円
第4段階	世帯の誰かに住民税が課税(本人は非課税)		41,800円	54,500円
第5段階	本人が住民税課税	前年の合計所得が190万円未満	52,200円	68,100円
第6段階		前年の合計所得が190万円以上	62,700円	81,800円



佐藤主事

■問合せ 長寿健康課 介護保険室 ☎672-2111(内線6128)

健康

たったの3分間で13の動き 実はスゴイ!!ラジオ体操



私たちが昔から慣れ親しんでいるラジオ体操は、ただの準備体操ではありません。実は、とても優れたエクササイズなのです。



赤川主事

いいが良いい!

- ① 簡単で、しかも時間がかからない
- ② 気軽に、どこでもできる
- ③ みんなが知っている
- ④ 全身の筋肉や関節を、くまなく動かすことができる
(ラジオ体操第一には、たった3分間の中に13種類もの動きが含まれています)
- ⑤ カロリー消費量が意外に多い
(消費カロリーは、速いペースのウォーキングとほぼ同じです)

こんな効果があります

- ① 脂肪燃焼、ダイエット
- ② 肩こり、腰痛の解消
- ③ 血圧値や血糖値の改善
- ④ 骨密度低下の予防
- ⑤ 気分転換、ストレス解消など

ラジオ体操のコツ

- ① リズミカルに行うこと
- ② 音楽に合わせて、動かしている部分を意識すること
- ③ 呼吸を止めないこと
- ④ できる範囲で行うこと
- ⑤ 体調が悪いときは無理をしないこと
- ⑥ 習慣づけて、続けること

継続して取り組むことで、効果は確実に表れます。

毎日の運動の習慣として、さわやかな朝の目覚ましとして、ラジオ体操を試してみよう!

総合運動公園の体育館前では、毎朝6時30分からラジオ体操の音楽が流れています。ぜひ足を運んでみてください。

募集

歩いて健康づくり

元気はつらつメンバーズ養成講座「ウォーキングコース」の受講者を募集します。自然の景色を眺めながら、みんなで楽しくウォーキングをしませんか。初心者も大歓迎です。

- 日時 7月5日、7月12日、8月2日、9月6日、9月20日、10月18日(各木曜日) 全6回 午後1時～午後4時30分ころ
- コース 未定(保健センター集合、出発地点までバスで移動)
- 定員 25人
- 受講料 1000円



募集

10年後のために 元気はつらつ 貯筋講座

筋肉をためる“貯筋”の仕方を学びます。

- 日時 7月11日、18日、25日(各水曜日) 午前10時30分～正午まで
- 会場 保健センター「元気はつらつ館」
- 講師 体育協会 高橋一男トレーナー
- 対象 おおむね40歳以上
- 定員 10人
- 受講料 1回100円





心のほつと相談室



うつ病は、日本人の15人に1人が経験

うつ病は、さまざまな出来事や体験で感じる「強いストレス」「過度の疲労」「その人の性格や考え方」などが影響し合い、幸せを感じるためのホルモン（セロトニン）が減少することで、心のエネルギーが低下してしまう病気です。「怠けている」「甘えている」と誤解されがちですが、脳のトラブルによる病気であることをご存知ですか。

私、もしかしてうつ病？ ～自分でチェック～

うつ病は、誰でもかかる可能性があります。「ちょっと疲れているだけ」「まさか自分が」などと軽く考えないことです。

次の2項目以上が2週間以上ほぼ毎日続き、生活に支障がでている人は、うつ病の疑いがあります。

◇ 毎日の生活に充実感がない

◇ これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった

◇ 以前は楽にできていたことが今では億劫だ

◇ 自分が役に立つ人間だと思えない

◇ 訳もなく疲れたように感じる

あの人、もしかしてうつ病？ ～周りの人がチェック～

自覚しにくいので、周囲の人が早めに気づいて対応することがとても重要だ。

◇ 以前と比べて表情が暗く、元気がない

◇ 体調不良の訴え（身体の痛みや倦怠感）が多くなった

◇ 仕事や家事の能率が低下、ミスが増えた

◇ 周囲との交流を避けるようになった

◇ 遅刻・早退・欠勤（欠席）が増えた

◇ 趣味やスポーツ、外出をしなくなった

◇ 飲酒量が増えた など

病院に行ってみませんか？

うつ状態なのに「こんなことで病院に行くなんて」「精神科はちょっと」と思う人が少なくありません。うつ病は治療すれば楽になる場合が多いので、ためらわずに相談・受診してください。



■問合せ 福祉課 福祉推進室 ☎672-2111 内線1522

からだよろこぶヘルシーレシピ

豚肉の紅茶煮

豚肉にはビタミンB1が多く含まれ、疲労回復やイライラを防いでくれる効果があるとされています。

材料（4人分）

豚もも肉（かたまり）…600g
紅茶ティーパック …4袋
モヤシ …… 1袋
ニンジン …… 60g
キュウリ …… 1本
セロリ …… 1本
エノキタケ …… 1袋

【ドレッシングの材料】

酢 …… 50cc
しょうゆ …… 50cc
三倍濃縮のめんつゆ …… 50cc
ゴマ油 …… 50cc

白ゴマ …… 大さじ1
白すりゴマ …… 大さじ2
盛り付け用の野菜と果物 …… 適量



つくりかた

- 1 圧力鍋に豚肉のかたまりを入れる。豚肉がかぶるくらいの水と紅茶のティーパックを入れ、圧力をかけて20分煮る。
- 2 20分煮たら、火を止めてそのまま冷ます。
- 3 ニンジンは皮をむいてせん切り、セロリは短冊切りにする。キュウリは縦半分に分けてから斜め切りにし、塩少々でもんでおく。エノキタケは石づきを取り除き1/2に切る。
- 4 ニンジン、モヤシ、エノキタケはさつとゆでて冷ましておく。

- 5 酢、しょうゆ、めんつゆ、ゴマ油、白ゴマ、白すりゴマを混ぜ合わせ、ドレッシングを作る。
- 6 下準備しておいた野菜をボウルに入れ、ざっくり混ぜ合わせドレッシングをかけておく。同様に、紅茶で煮ておいた豚肉もスライスして、パットに並べドレッシングをかけておく。
- 7 野菜と豚肉にドレッシングの味がなじんだらできあがり。オレンジやレタス、ミニトマトなどと一緒に盛り付ける。



お肉はせん切りにして野菜と混ぜ合わせてサラダにしたり、麺類のトッピングとして利用したりしても良いです。また、季節によって色々な野菜で楽しめます。

紫波町食生活改善推進員協議会 志和地区会員 杉浦 まき子さんのレシピです



**陽気に誘われ
城山公園桜まつり**



さんさ踊りを披露した紫波総合高校郷土芸能部

城山公園桜まつり実行委員会（鱒沢克美会長）は4月28日、城山公園第1駐車場イベントを開催しました。桜は三分咲きでしたが、初夏を思わせるような陽気の中、特設ステージでは、餅つきや餅振る舞いに始まり、民謡や民舞、フラダンスやさんさ踊りなどが公演されました。また、商工会青年部が出店した宝探しは子どもたちに人気でした。家族と訪れた藤原優羽ちゃんと言原蓮斗君は「お餅がおいしかった」と笑顔を見せていました。



古館ふれあいホールが完成したことがきっかけで、古館地区に交流の輪が広がっています。JA女性部古館支部（小川恵子支部長）と古館婦人会（田森晶子会長）が中心となり、約20人でホールに飾る大きなキルトを約4カ月かけて製作しました。「みんなで一つのものを作り、施設に愛着が持てるようにしたかった」と小川支部長。キルト作りのほかにも交流が生まれており、地区の方々が自ら行事を考え、ホールや公民館を活用しています。新しく古館に移り住んだ人たちも利用しやすい雰囲気、今では施設の空き日を探すのが大変なほどです。

**峠にも春到来
山屋ミズバショウまつり**



ちょうど見頃を迎えたミズバショウ

山屋夢楽^{むら}づくり実行委員会（菅原正勝会長）は5月3日、第8回山屋ミズバショウまつりを開催しました。見頃を迎えたミズバショウと山屋田植踊のおはやしが、のどかな峠の春を感じさせました。盛岡市から訪れた鈴木紀子さんは「田植踊の子どもたちがかわいらしく、早乙女の振り付けは激しくて珍しい踊りでした。漫才も面白かったです。紫波町は芸能が多くて素晴らしいと思います。またぜひ訪れたいです」と満喫した様子でした。

**にぎわっています
古館ふれあいホール**



城山公園を描いたキルトの説明をする小川恵子さん（右）



最初はちよつとおつかひがなびつくり

赤沢でトンテンカン 鍛冶屋さん体験

赤沢公民館で5月12日、鍛冶の実演が行われました。実演したのは、昭和20年代に鉄工所で働いていた田村由郎さん。使用された鍛冶道具は、昭和20年代に田村さんが実際に使用していたもので、赤沢郷土歴史資料館に展示されているものです。地区住民など約20人が参加し、トンテンカンと音を響かせながら、真っ赤に熱せられた鉄の棒をツチでたたいて加工する体験も行われました。



見晴らしが良い場所で和気あいあいと作業しています

被災者の心を癒やす ひまわり農園

ボランティアグループひまわり（大井レリ会長）は5月14日、古館地区にある同農園で、枝豆の種まきなどを行いました。昨年6月から始まったこの農園は、週に2回ほど活動。参加者の菊池鏡子さんは「震災直後は本当に落ち込みましたが、町の皆さんが温かく受け入れてくださり、今では仕事に復帰することもできました」と感謝していました。「参加者の一歩を踏み出す力に少しでもなれたら」と事務局の田村眞智子さん。郷里を越えてつながった参加者たちの笑顔あふれる活動風景に、心がじんわりと温かくなりました。



参加者が楽しみにする「しわっせ」オープンは7月2日（月）です

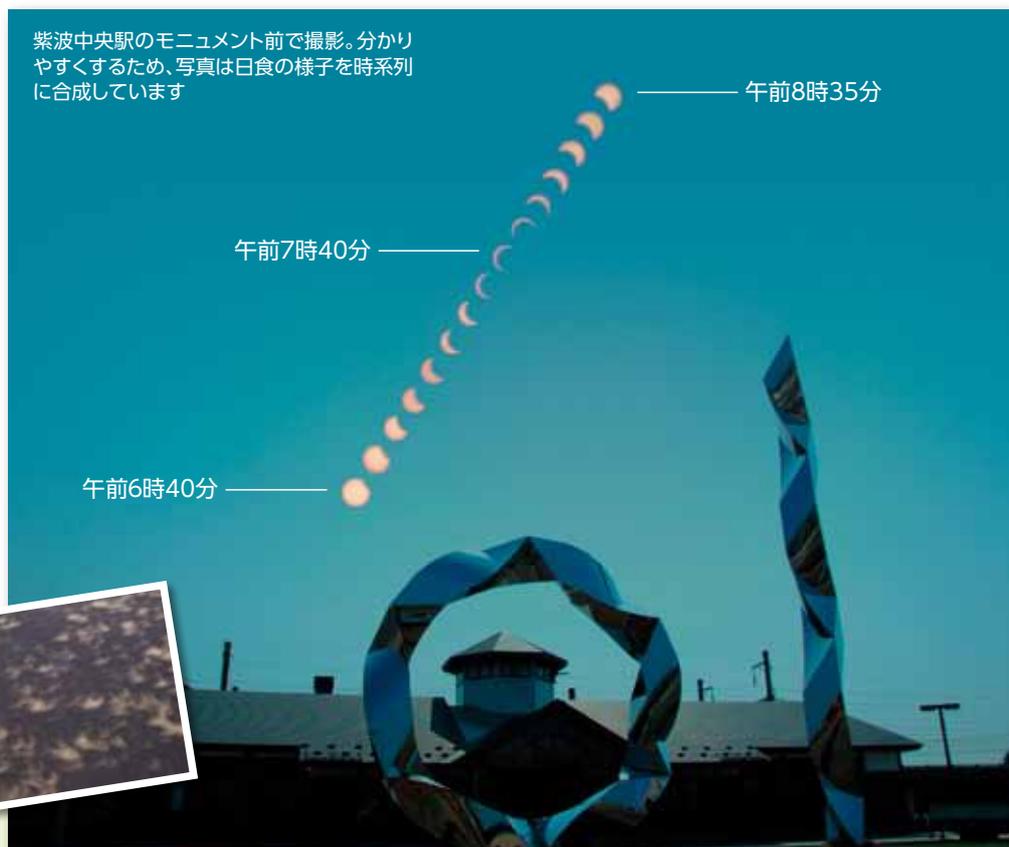
お別れお楽しみ会で 「またね！」

子育て支援センターは5月31日、子育て応援センターとしてオパールプラザ内へ移転することに伴い「お別れお楽しみ会」を開催。24組の親子が参加し、体操やかけっこなどを楽しみました。「新しい『しわっせ』でさらに幸せになつてください」と沼田悦子所長があいさつ。高水寺の金澤れい子さんは「移転後も一時預かりなどを利用し、その間に料理講座などに参加してみたいです」と開館を楽しみにしていました。

1883年以来の金環日食は5月21日、日本列島の東京、大阪、鹿児島を結ぶラインの周辺地域で観測されました。北緯39.5度の当町では、太陽がリング状に欠ける「金の環」ではなく、三日月形に欠ける部分日食が観測されました。見事に晴れ上がった当日は、午前6時26分ごろから太陽の右上が欠け始め、7時43分ごろが最大で、9時11分ごろに終了しました。日食の途中で地面を見ると、木漏れ日がすべて三日月型をしていました。

世紀の天体ショー 金環日食

紫波中央駅のモニュメント前で撮影。分かりやすくするため、写真は日食の様子を時系列に合成しています



午前8時35分

午前7時40分

午前6時40分

アスファルトに映し出された三日月型の木漏れ日

へのご理解をお願いします。(都合により日程を変更する場合があります)

①7月7日午後11時～8日午前5時(仙台～盛岡間)

②7月12日午後11時～13日午前5時(仙台～新青森間)

■問合せ 東日本旅客鉄道株式会社
盛岡支社設備部 ☎625-4065

青少年育成委員を紹介します

岩手県青少年育成委員に次の3人が任命されましたので紹介します。青少年育成委員は、青少年非行防止対策を推進するため、各中学校の学区ごとに配置され、中学生の健全育成のための環境維持活動などを行います。任期は2年間です。

紫波一中学区 富岡靖博さん

紫波二中学区 阿部玲子さん

紫波三中学区 熊谷敬子さん

■問合せ 生涯学習課 学習推進室
☎672-2111 内線6234

行政相談委員に感謝状

町内の行政相談委員2人が行政苦情の解決に尽力された功績により、岩手行政評価事務所長から感謝状を贈呈されました。行政相談員は、地域住民の身近な相談相手として総務大臣から委嘱され、行政に対する苦情や要望を受け付け、関係機関への通知や照会、解決に向けた助言を行っています。

■受賞者 鎌田まき子さん(日詰駅前)
笹井岳雄さん(片寄)

■問合せ 総務課 総務文書室
☎672-2111 内線3121

資源物回収団体の皆さんへ スチール缶回収を支援

地域コミュニティの活性化や環境意識の向上、社会的コスト削減など、循環型社会の構築に寄与することを目的に、スチール缶の集団回収を実施している団体を支援します。

■対象 町内会、老人会、子ども会、婦人会、PTA、商店会など

■支援内容

感謝状と5000円～2万5000円のクオカード(商品券)を贈呈

■応募方法

スチール缶リサイクル協会ホームページから、応募用紙をダウンロードし、団体代表者が記入提出。

■応募先・問合せ

12月28日(金)必着 スチール缶リサイクル協会 〒104-0061東京都中央区銀座7-16-3 日鉄木挽ビル1階
スチール缶リサイクル協会「スチール缶の集団回収支援事業」係
☎03-5550-9431

ホームページ <http://www.steelcan.jp>

■熊にご注意ください

農作業や山菜採りなどで野山に入る場合には、ツキノワグマとの遭遇を避けるために、鈴、ラジオなど音の出るものを携帯し、時々周囲に注意を払いながら行動してください。

万一、クマのふんや足跡、子グマを見かけた時は、必ず引き返してください。また、クマを呼び寄せないよう、ゴミは必ず持ち帰ってください。

クマによる被害を防ぐためには、一

人一人の注意が大切です。皆様のご理解とご協力をお願いします。

■問合せ 環境課 生活環境室
☎672-2111 内線3521～3523

森林の伐採には届出が必要

森林を伐採、開発する際は、事前に届出や許可申請の各種手続きが必要です。森林の伐採、開発の計画がある場合はご相談ください。

■問合せ

【保安林以外の森林での立木伐採】

農林課 農業振興室

☎672-2111 内線3332

【保安林での立木伐採、土地の形質変更】

盛岡地方振興局 林務部

☎629-6615

【保安林以外の森林で1畝を超える開発行為】 盛岡地方振興局 林務部

☎629-6616

相談

■弁護士無料相談会

弁護士による無料相談会を開催します。土地関係・会社関係・多重債務など、さまざまな内容を受け付けます。企業など個人以外でもご利用可能です。ご予約の上お出かけください。

■日時

7月6日(金) 午前10時～午後3時

■会場 総合福祉センター

■申込・問合せ 社会福祉協議会

☎672-3258(要予約)

ラ・フランス温泉館のご当地グルメに「紫波メンチ」が仲間入り

こだわりの3食材

- ①紫波もちもち牛
岩手県産豚との合いびき肉を使用
- ②紫波町産ヒメノモチ
玄米を混ぜ込むことで、バランスのとれた栄養食に
- ③地酒の酒粕
まるやかで自然な甘み

1個180円で好評発売中!

お求めはラ・フランス温泉館、道の駅レストランがらん亭、そして、ピンクのケーターリングカーで

紫波町小屋数字新在家90番地
☎019-673-8555
FAX 019-673-8556
ラ・フランス温泉館 検索
URL <http://www.lafrance.co.jp/>

ハダカのおつきあいー一家だらん。

La FranCe
ラ・フランス温泉館

紫波物語

紫波リースリング2011

今年も良い出来となりました。早期の完売が予想されますのでお早めにお求めください。

限定醸造 930本

5月24日
ワイナリー直売所
限定販売開始

2,520円(税込)
無ろ過生詰/750ml/白・辛口

(株)紫波フルーツパーク(紫波町第三セクター)
☎019-676-5301 紫波町遠山字松原1-11(道の駅紫波の裏手)
URL <http://www.shiwa-fruitspark.co.jp/>



催し

町民登山「秋田駒ヶ岳」 参加者募集

- 日程 7月29日(日)
- コース 秋田駒ヶ岳八合目から国見温泉まで(変更あり)
- 対象 小学4年生以上の町民
- 定員 50人
- 参加料 3500円(保険料込)
- 申込受付
〈日時〉7月11日(水)午後6時30分から
〈会場〉総合体育館研修室
- 問合せ
(財)紫波町体育協会(総合体育館)
☎676-2650 有線01-3151

認知症出前講座

家族が認知症になり、深刻に悩む人が増えてきています。一緒に学び、その解決の糸口を見つけてみませんか。

1回目「専門知識を学ぼう」

- ◇7月7日(土)午後1時30分～3時
- 講話「認知症の症状を知ろう」～専門知識から最新治療情報まで～
- 講師:直嶋医院 直嶋淳太院長

2回目「対応の仕方を学ぼう」

- ◇7月17日(火)午前9時30分～11時30分
- 寸劇「良い対応・悪い対応」
- 講話「認知症の方への対応の仕方のコツ」～認知症高齢者の心理について理解しよう～
- 講師:グループホームゆうゆう北沢 藤原秀康施設長

3回目「交流会:思いを語り合おう!」

- ◇8月2日(木)午後1時30分～午後3時
- 「認知症の人と家族の会」の講話／家族会活動の紹介／認知症の家族を抱え、悩んでいる人へのメッセージ
- 講師:認知症の人と家族の会滝沢支部 立花美江代表
- 会場 赤石公民館
- 申込・問合せ 7月4日(水)まで
長寿健康課 高齢者支援室
☎672-4522 有線01-8991

親子のヨガ体験講座 「ふれ愛～世界に1つだけの愛」

- ①ベビーマッサージ
ベビーマッサージやヨガを通してのママと赤ちゃんとのふれあいあそび体験
- ◇日時 7月18日(水)午前10時～正午
- ◇対象 生後2カ月～12カ月のお子さんとママ(首が据わり～歩行をする前のお子さん)
- ◇定員 15組
- ②キッズマッサージ
キッズマッサージやヨガを通してのママと子どもとのふれあいあそび体験
- ◇日時 7月19日(木)午前10時～正午
- ◇対象 おおむね1歳半～3歳位のお子さん(しっかり歩行ができる子)とママ
- ◇定員 10組
- 参加費 500円(材料費)
- 持ち物
バスタオル・ハンドタオル・子どもの着替え・水分補給できるもの
- 会場・申込・問合せ
7月11日(水)まで 勤労青少年ホーム
☎676-2344

南部曲がり屋 「武田家住宅」 土壁づくり 参加募集

- かやぶき屋根が見事な「武田家住宅」は、建築して200年以上もたつ町指定文化財の南部曲がり屋です。この家屋の補修作業を行うため、ご協力いただけるボランティアを募集します。県が行う「平成24年度新しい公共の場づくりのためのモデル事業」として、「結いの思想・くらし・知恵・技術」などの伝承につながる取り組みを、地域ぐるみで行おうとするものです。午前、午後、一日など、ご都合に合わせてご参加ください。
- 日時 6月24日(日)・25日(月)、7月21日(土)・22日(日)、時間は午前8時30分～午後4時
- 内容
○馬屋跡の土壁塗り(昔ながらの壁塗

りを左官職人が指導)

- 昔ながらの昼食を用意しています。
- 問合せ しわ土壁プロジェクト運営協議会(事務局鷹木)
☎090-2600-0358

子どもの読書支援 ボランティア養成 連続講座

学校や地域での読書活動を支えるボランティア活動に興味のある人であれば、どなたでも参加できます。

■日時・内容

- ◇7月4日(水)午前9時50分～正午
第1回「今、なぜ本?こどもの本のチカラ(その魅力と役割について)」
- ◇7月10日(火)午前9時50分～正午
第2回「読み聞かせの基本(選書から読み方そしてプログラムの組み方ほか)」
- ◇講師:高橋美知子氏(輝く子どもの読書運動協議会代表)
- 申込・問合せ おはなしの森(菅原)673-6291

シルバー人材センター 入会希望者説明会

高齢者にふさわしい仕事を引き受け会員に提供。入会希望者は説明会への参加が必要です。

- 対象 町内に居住する60歳以上の健康で働く意欲を持ち社会参加を希望する人
- 日時 7月12日(木)午前9時30分～
- 会場 銭形平次会館(日詰商店街)2階会議室(希望者多数の場合は変更あり)
- 申込・問合せ 7月5日(木)まで
(社)紫波町シルバー人材センター
☎672-1274

お知らせ

新幹線走行試験が行われます

JR東日本は、新幹線の走行試験を次の日程で実施します。夜間早朝作業

アメリカシロヒトリの防除のお願い



アメリカシロヒトリ自体に毒はなく、トゲや針などで人を刺すこともありません

噴霧器の貸し出し
 町は、アメリカシロヒトリを駆除するための「動力噴霧器4台」を貸し出ししています。利用を希望する人は、事前に電話で在庫の有無をご確認ください。(薬剤は利用者が準備)

緑の大敵、アメリカシロヒトリ。この虫は、幼虫期に街路樹や庭園樹、中でもサクラ、クルミなどの広葉樹の葉を食い荒す害虫です。町内では、毎年6月頃から9月中旬にかけて大量発生します。
 これからの季節、アメリカシロヒトリから樹木を守るには、早期防除が大切です。発生を見かけたときは、直ちに防除をお願いします。

◎防除方法その1

クモの巣状の状態では幼虫が巣から出ていない段階であれば、ハサミなどで巣ごと枝葉を切り、焼却することが一番効果的です。またはビニール袋に入れ、しっかりと縛って燃えるごみとして出してください。

◎防除方法その2

幼虫が巣から出て分散している状態であれば、殺虫剤などの薬剤散布が効果的です。薬剤は、農協やホームセンターなどにお尋ねください。

※防除・駆除は、樹木の所有者の責任で行ってください。 ※道路や公園などの町有地の防除は町が行います。 ※ご自分で防除できない場合は、造園業者に依頼するなどの対応をお願いします。(料金は自己負担)

【問合せ先】

環境課生活環境室 ☎672-2111
 (内線)3521~3523 有線01-8972

若返るメガネレンズ

遠近両用レンズ(1組) 10,000円



軽く、しなやかなフレームのラインアート・シャルマンと手元から遠くまで快適な視界が広がる遠近両用レンズの組み合わせは、若い頃がよみがえる「掛けていることを忘れるメガネ」となります。
 Line Art CHARMANT XL1022 ¥33,250

掛けていることを忘れるメガネフレーム

鏡形率次のあるさと紫波町のメガネ店

眼鏡屋 目明かし堂

有限会社 サトウ時計店

http://www.meakashi.com 紫波町日詰字郡山駅209 ☎676-2838 日誌バス停前



相心館 Kami Hikōki

《ダイヤモンド・ストリームライン発表》

縮毛矯正にウェーブで貴女の挑戦が始まる

【定休日】 6月17日・18日・25日
 7月2日・9日・16日

縮毛矯正 一般 25%割引!!

男性・学生 20%割引!!

ビタミントリートメント5種 20%割引!!

有効期限 6月24日まで

○クリーフウェーブ(カットブロー別) (120分)	4,620円
○マカロンウェーブ(カットブロー別) (150分)	6,720円
○縮毛矯正ストレート (160分)	16,800円
○Milkカラー(カットブロー別) (110分)	3,675円
○天然ヘナ&インディゴ(カットブロー別) (140分)	4,200円
○ベースカット(S・C・B) (45分)	4,935円

T 028-3303 紫波郡紫波町高水寺宇古屋敷 6-31

TEL 019-676-5825

E-mail kamihikoki@posh.jp

OPEN 8:40~CLOSE 18:00

定休日 / 毎月曜日・第三日曜日



体験学習(無料)受付中

そろばん・あんざんで計算力アップ!
 学習や日常生活に活かされます。

紫波町日詰字郡山駅
石川珠算教室

☎672-2621

岩手県知事認可 紫波町稲藤字升形

関谷珠算学校上平沢教場

☎673-6965



広告を募集しています

町内全世帯に配布される
 町の広報『紫波ネット』に
 お店や企業の広告を載せてみませんか?

詳しくはお問い合わせください。

掲載料 1枠10,500円(税込み)

◆ 申込・問合せ ◆

企画課 情報政策室 ☎672-2111 内線3232

✉ joho@town.shiwa.iwate.jp

What is Nomura Kodo's other pen name?

正解者の中から抽選で
記念品をプレゼント

エフエム岩手ふるさと元気隊「紫波こびるFM」の
近藤菜穂子さん(左)と中村裕子さん(右)



ハワードさんの 英語クイズ!

寄せられたご意見・ご感想

- 5月号を見て、農産物の豊かな紫波町を素晴らしいと再認識しました。(志和・60歳代)
- いつも英語クイズを楽しみにしています。(志和・10歳代)
- 町の情報は「紫波ネット」で入手。いつも楽しみにしています。(古館・80歳代)

【先月号の質問(和訳)】
クラーク・ケントは誰ですか
【答え】
スーパーマン

郵便はがきまたは電子メールで、住所、氏名、年齢、電話番号、答え、『紫波ネット』の感想や町政に対するご意見などを記入の上、ご応募ください。**7月2日(月)まで**。〒028-3392紫波町役場 企画課情報政策室「英語クイズ」係電子メール joho@town.shiwa.iwate.jp

町長からのメッセージ

胡堂記念館がさらに充実

野村胡堂あらえびす記念館はこの度、篤志家からのご厚志により、記念館としての価値がさらに向上しました。

横浜市にご在住の岡堂勝行氏から、レコード寄贈の話が持ちかけられたのは平成15年度のことでした。岡堂氏は、高校時代に野村胡堂先生のレコードコンサートに通ううちにレコード収集を始めるようになり、20世紀初頭の室内楽や声楽、オペラのレコードを、米国、英国、ドイツ、アルゼンチンから個人輸入しており、一昨年、その収集した貴重なSPレコードを含む約5000枚と収蔵庫の建設費として金一封のご寄付を賜りました。

岡堂氏は、会社員として外国生活をしながら、胡堂先生の大きな影響を受け、なげなしのお金をつぎ込んで夢中でレコード収集したそうです。しかも、再生用と保存用として2枚ずつを購入するほどの凝り方です。

当初は、没後寄贈の予定とお聞きしましたが、体調も思わしくないとのことでご生前寄贈を決められました。諸手続きを済ませた後、昨年3月に寄贈を受けたところです。

定とお聞きしましたが、体調も思わしくないとのことでご生前寄贈を決められました。諸手続きを済ませた後、昨年3月に寄贈を受けたところです。

収蔵庫は、寄付金を基に建築し、今年4月に完成していますが、現在、膨大な数のレコードを収納するため、目録作りと整理を進めています。

本年度は、胡堂先生の生誕130年です。没後50年にして、胡堂先生から大きな影響を受けた方々により、記念館の充実が図られることは、先生の偉大さを感じるところです。

6月23日に岡堂勝行様をお招きし、岡堂コレクション収蔵庫として落成式を予定しています。岡堂様には、健康の回復を願うとともに、今後とも、野村胡堂あらえびす記念館の発展にご協力を乞いたいものです。ますますのご健勝をお祈りし、お礼といたします。

藤原 孝

仏壇展示販売会 大好評!

7/7(土)・8(日)

県内トップクラスの売上げをほころ実績と信頼のおける商品を多数展示。全国一の仏壇産地徳島をはじめ、一流産地から直接仕入れ特別価格でご奉仕中。

午前9時～午後6時

仏壇リフォーム無料見積り承ります

会場 シンセラホール 矢巾

紫波郡矢巾町大字又兵衛新田6-110 ☎019-698-1444

岩手県紫波郡紫波町桜町字上野沢278
☎676-7676 FAX676-4404

中央葬祭センター
「シンセラホール紫波」



紫波町に定住・住替をお考えの皆さんへ
理想の住まい探しをサポートします。

ウエノ不動産管理(有)

☎671-2072 FAX)671-2073

日詰字下丸森9-4 (養老乃瀬 紫波町店となり)

最新情報はホームページへ ウエノ不動産管理 | 検索

この街で宅地・建物の売買、仲介、自社開発分譲を手がけています。ご成約された被災者の方には特典をご用意しています。

※詳しくはお問合せください。



紫波の伝統食を作る

「赤飯」「煮しめ」

6月20日にオープンするオガールプラザ内の情報交流館・キッチンスタジオで、伝統食を作ってみませんか。

6月から毎月開催する「伝統食講習会」の第2回目は、人生や季節の節目に食べる機会が多い、お赤飯とお煮しめです。昔は「ごちそう」として、お祝い事や冠婚葬祭でも登場しました。お盆のお持てなしにいかがでしょうか。

レシピ

赤飯(4、5人分)

もち米 …………… 3カップ
小豆 …… 70g(もち米の1~2割)
うち水 …… 150cc(もち米の3割)

【作り方】

小豆の煮方

- ①小豆の約5倍の水を加えて強火にかけ、沸騰したらゆで汁を捨てあくを取り、また水を加えて煮る。
- ②水分をよく切ったもち米とゆでた小豆を混ぜ合わせる。
- ③蒸し器に蒸し布を敷き、②を平らに広げ、中央を少しくぼませ、蒸気の立った上に載せて強火で25分程度蒸す。
- ④蒸し上がった③を器(ボウル)に移し、ざっくりほぐし、うち水を入れ、よく混ぜて再び蒸し器で10分程度蒸す。
- ⑤蒸し上がったら器に移して広げ、うちわであおいでつやを出す。

煮しめ

ニンジン、ゴボウ、シイタケ、昆布、コンニャク、油揚げ、焼き豆腐(乾燥豆腐)、ワラビやフキなど、季節の野菜(サトイモやジャガ芋など)、人数や好みに合わせて分量は調整

だし汁 …………… 5カップ 砂糖 …………… 大さじ2
みりん、酒、しょうゆ …………… 適量
…………… 1/2カップ (調味料も好みに加減してください)

【作り方】

- ①鍋にだし汁を入れ、下ごしらえをした材料を煮えにくい順に(ゴボウ、シイタケ、昆布、コンニャク)を入れ、八分通り火が通ったら残りの材料を入れる。
- ②落としぶたをして中火で3~4分煮て、みりん、酒、砂糖を入れ4~5分煮る。
- ③最後にしょう油と塩を入れ、弱火で20分ぐらい煮て味をなじませる。



食の匠 細川玲子さん

「食の匠」
細川玲子さん
の伝統食講習会
募集

- 日時 7月28日(土)午前10時~正午
- 会場 オガールプラザ
(情報交流館内・キッチンスタジオ)
- 募集人員 10人(先着順)
- 費用 800円(材料費など)
- 申込・問合せ 受付開始は6月25日(月)午前9時から 情報交流館事務局
- ☎(672)2918